

令和6年度第7回(臨時)教育研究評議会議事録

日時 令和6年10月30日(水) 14時00分から14時20分まで
場所 事務局棟5階大会議室、S-Port3階会議室
出席者 日詰、塩尻、川田、森田、大場、川村、青木(Web参加)、佐藤、鎌塚、高倉、二又、本橋、近藤、田中、上藤、村山、延原、笹原、小西、山本、竹内、福田、宮原、加藤、西村、池田、平井、水谷、原和彦、原正和、今泉、木村、間瀬、河合の各評議員
欠席者 なし
陪席者 飯田、河島の各監事、栗井(Web参加)、小野の各学長補佐、金原学長特別補佐

I 報告事項

1 学長候補者の決定について

山本委員(学長選考・監察会議副議長)から、学長候補者の決定について、資料1により報告があった。

<委員等から出された意見>

笹原委員:学長候補者の選考の理由の説明で、特に重視した点について「明確なビジョン、優れたコミュニケーション能力とリーダーシップ、調和のとれた一体感のある大学運営、他大学等との連携」を挙げており、浜松医科大学との関係は今後対応可能と判断したとのことだが、候補者の抱負等の説明では、浜松医科大学との関係における具体的な提案があったようには思えなかった。参考資料の「学長に求められる資質・能力」の5つの基準にもう少し踏み込んで、どのような形で判断したか教えてほしい。また、学長選考・監察会議は強いリーダーシップを持って学長を決めるという大学にとっても重要な役割を担っているの、議長には教育研究評議会等にお越しいただいて質問にお答えいただきたい。

山本委員:個別の事案の内容については回答できないが、全体としていろいろな事案を勘案して結論に至った。

笹原委員:学長選考・監察会議は学長を決定するという非常に重要な役割を担っている会議なので、教育研究評議会での今の説明は十分ではないように思う。特に今回は、相当、学長選考・監察会議でリーダーシップを取って様々な見解や注意点なども出しているの、学長選考のプロセスについては、議長に教育研究評議会にお越しいただき、質疑応答を受けていただきたい。

佐藤委員:事務局として回答する。学長選考・監察会議議長からの説明に関しては、議長と相談の上、対応を検討する。

川田委員:報告の中で、リーダーシップについて懸念もあるとのことだったが、最後は

リーダーシップがあるという結論になっており違和感を覚えたので、再度説明してほしい。

山本委員：そのような意見もあったということであり、それも含めて全体を勘案し日詰候補に決定した。

以上